

I 概 要

1 はじめに

令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜では、一般入学者選抜等の本検査及び追検査において学力検査を実施した。その結果等をもとに作成した「学力検査結果の概要」を、本県中学校及び高等学校において教科指導向上のための資料の一つとして御活用願いたい。

2 実施日、教科

本検査の学力検査は、令和6年2月20日（火）に国語・数学・英語、21日（水）に理科・社会を、国語・社会・数学・理科は各教科50分、英語は60分、各100点満点で実施した。

追検査の学力検査は、令和6年2月29日（木）に国語・社会・数学・理科・英語を、国語・社会・数学・理科は各教科50分、英語は60分、各100点満点で実施した。

3 調査の対象

本結果は、令和6年度千葉県公立高等学校入学者選抜における一般入学者選抜の本検査及び追検査の学力検査で、全日制の課程（特別入学者選抜、地域連携アクティブスクール6校を除く。）を受検した者の結果等をまとめたものである。

なお、本検査の正答率・無答率については、各教科とも令和5年度までは全日制の課程の全受検者のうちから抽出した答案（全体の約10%）によって算出した。令和6年度はデジタル採点システム導入に伴い、全受検者の答案から算出したものである。なお、追検査は、受検者が少ないため、平均点及び正答率・無答率を記していない。

4 学力検査問題の特徴

学力検査問題の作成に当たっては、各教科とも中学校学習指導要領に基づき、総合的な力をみることができるよう配慮した。

令和6年度の学力検査問題の特徴は、次の2点である。

- 基礎的・基本的な事項の正確な理解度をみることができるよう、複数の解答について全て正しい場合にのみ正解とする問題や、理由を書かせる問題を設定した。
- 学習した基礎的な知識を応用して答えを導く問題や、思考力、判断力、表現力等を総合的にみることができるような問題を設定した。

上記2点を柱に、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、学習活動を通して確かな学力を身に付けているかをみる問題を充実させた。

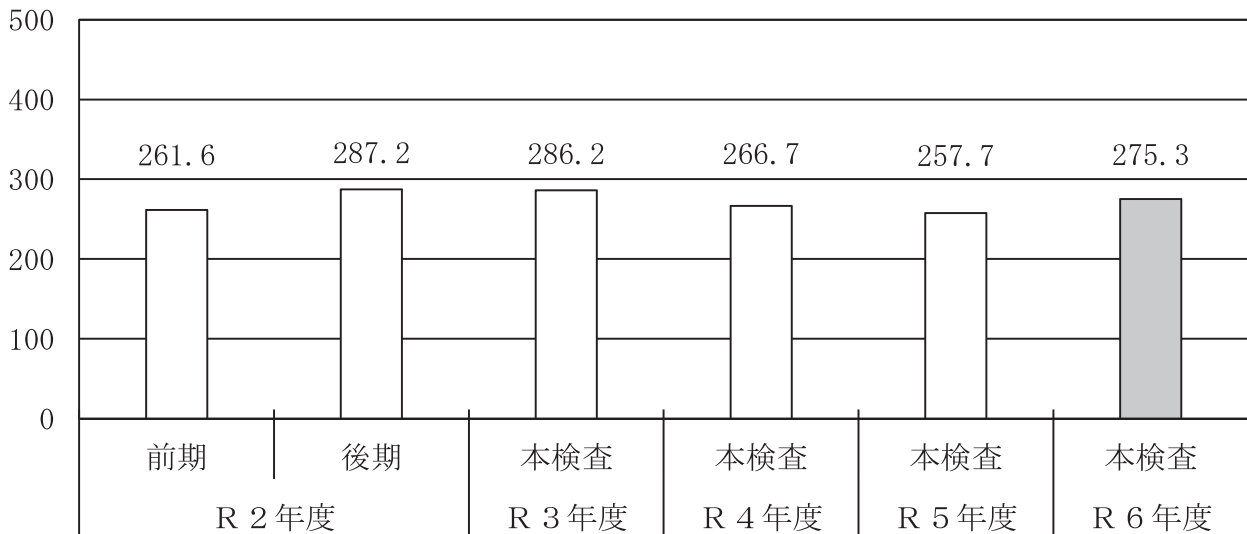
5 結果の概要

【表】各教科及び5教科の平均点 ()内は標準偏差

| | | 国 語 | 社 会 | 数 学 | 理 科 | 英 語 | 5 教 科 |
|---------------|-----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 令和 6 年度 | 本検査 | 50.4 (15.8) | 57.5 (22.2) | 51.9 (19.4) | 59.1 (19.4) | 56.4 (24.1) | 275.3 (91.8) |
| 令和 5 年度 | 本検査 | 47.9 (15.5) | 54.5 (19.8) | 47.0 (18.8) | 60.7 (21.9) | 47.6 (23.2) | 257.7 (90.6) |
| 令和 4 年度 | 本検査 | 47.7 (16.7) | 56.3 (21.3) | 51.5 (21.2) | 52.7 (21.4) | 58.7 (23.9) | 266.7 (94.3) |

【図】5教科の平均点の経年変化

(点)



各教科及び5教科の平均点は、【表】に示したとおりである。

また、5教科の平均点の経年変化を【図】に示した。令和6年度の本検査の5教科の平均点を見ると、前年度の本検査より17.6点高かった。

なお、本検査受検者の得点分布については、16、17ページに示した。